

# 山下金型 防火基本方針

## 【はじめに】

1.当社は、従業員、顧客、資産および環境の安全を確保するため、積極的な防火対策を実施することを重要視します。この防火方針は、火災予防、早期発見、適切な対応、持続的な改善を通じて、火災リスクを最小限に抑えることを目指します。

## 【責任と役割】

- 2.1. 全従業員は、火災予防および安全に関する方針、手順、規則を遵守する責任を負います。
- 2.2. 管理層は、適切な予算とリソースを提供し、防火対策プログラムの実施と維持に努めます。
- 2.3. 防火担当者は、火災予防、消火訓練、避難計画の策定と実施、火災リスク評価の実施などを担当し、従業員への情報提供と教育を行います。

## 【火災予防】

- 3.1. 全従業員は、危険な行動や状況を報告し、火災リスクを最小限に抑えるための予防措置を遵守しなければなりません。
- 3.2. 電気設備や機器の定期的な点検と保守を行い、火災の原因となる可能性のある欠陥や故障を早期に修正します。
- 3.3. 可燃物の適切な取り扱いと保管を確保し、定期的な清掃と廃棄物の処理を行います。

## 【早期発見と報告】

- 4.1. 煙検知器、火災報知器、消火器などの防火設備を適切に設置し、維持管理します。
- 4.2. 火災や異常事象を発見した場合は、速やかに適切な担当者に報告し、適切な対応措置を取ります。消火訓練や避難訓練を通じて、従業員が火災の兆候を認識し、的確に対応できるよう教育します。

## 【適切な対応と緊急時の避難】

- 5.1. 火災発生時には、速やかに適切な消火手段を利用し、最初の消火試みを行います。ただし、個人の安全を最優先に考え、状況が危険な場合は避難します。
- 5.2. 適切な避難経路と集合場所を指定し、避難計画を定期的に確認・評価し、改善します。
- 5.3. 緊急事態への対応能力向上のため、定期的な避難訓練を実施し、従業員に対して適切な行動指針を提供します。

## 【持続的な改善】

- 6.1. 防火方針の効果を評価し、定期的な監査と評価を通じて改善点を特定します。
- 6.2. 火災予防に関するトレンドやベストプラクティスを追跡し、適切な改善策を実施します。
- 6.3. 従業員への教育と意識向上活動を継続的に実施し、防火対策への参加と貢献を促します。

### 【法令遵守とコンプライアンス】

- 7.1. 当社は、関連する法令、規制、業界基準に準拠し、防火対策の要件を遵守します。
- 7.2. 適用される規制に基づいて、必要な防火設備や消防関連の手続きを適切に実施します。
- 7.3. 防火方針の改訂や追加の要件がある場合は、関係者との協力を通じて適時に対応します。

### 【防火設備と保守】

- 8.1. 火災報知システム、消火器などの防火設備を適切に設置し、必要な定期点検と保守を実施します。
- 8.2. 定期的な防火設備のテストとメンテナンスをスケジュールし、記録を保持します。
- 8.3. 防火設備の操作方法と使用上の注意事項について、従業員に適切な教育を提供します。

### 【火災リスク評価と改善】

- 9.1. 火災リスク評価を実施し、特定の危険箇所や火災リスクの高い領域を特定します。
- 9.2. 特定されたリスクに対して適切な対策を策定し、改善を実施します。これには、火災リスクを軽減するための追加の設備や手順の導入が含まれます。

### 【火災予防と緊急対応の啓発】

- 10.1. 定期的な防火および緊急対応に関する啓発キャンペーンやトレーニングを実施し、従業員の意識と行動を高めます。
- 10.2. 従業員に予防措置や火災報知の重要性についての情報を提供し、適切な対応方法を指導します。

### 【防火方針の定期的な見直し】

- 11.1. 防火方針は定期的に見直され、必要に応じて更新されます。これには、法的要件や業界の最新のベストプラクティスに基づく変更が含まれます。
- 11.2. 変更がある場合は、従業員に適切な情報とトレーニングを提供し、方針の変更を周知します。

2023年6月1日  
株式会社山下金型  
代表取締役 山下浩一